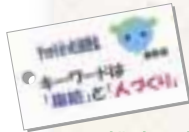


# 割り箸も天ぷら油も、10年前から資源です。

10年前の中海の水質浄化から始まった、町ぐるみで割り箸・廃天ぷら油再資源化運動。



1990年に発足した「彦名地区チビッ子環境パトロール隊」は、家庭から出る生活排水と中海の水質汚濁との関係についての勉強をきっかけに、水質汚濁の原因となる廃食油の回収を開始。現在は、BDF（バイオディーゼル燃料）の製造にまで活動が発展しています。パトロール隊を指導する向井哲朗さんは、「教科書には緑が大切と書いてあるのに、おじさんの働く製紙工場では森林破壊しているの?」という子どもからの素朴な問いかけを受け、全国で初めて割り箸の回収を開始。この活動を続けてきたことで、子どもたちの交流が広がり、豊かな心を持った人間を育てています。

団体名:彦名地区チビッ子環境パトロール隊  
所在地:鳥取県米子市

都道府県大会の名称

チョットまった温暖化  
～地球を冷やせ! とっとり知恵くらべ大作戦～

「こども環境サミット」に参加し、韓国の子どもたちと環境について話し合った。



環境教育とリサイクル活動の一環として、廃油を使っろうそく作りを実施。



# スターになった、厄介者の落ち葉。

街の厄介者といわれた落ち葉。  
堆肥にしたら超人気者に、華麗なる変身。



樹齢50年のケヤキ80本が街路樹として植えられている、松江市上乃木2区の「けや木通り」。松江市有数の美しい並木となっているものの、秋になると大量の落ち葉が発生し、その焼却処分には多くのエネルギーを消費するため、地域住民や道路の管理者からは「厄介者」扱いされてきました。しかし、長年の研究の結果、落ち葉の堆肥化に成功。処理に使っていたエネルギーが不要となりました。現在では、地域住民や企業・団体など約400人が落ち葉の堆肥化活動に参加しています。

団体名:上乃木2区自治会連合会  
所在地:島根県松江市

都道府県大会の名称

しまね環境一品! 知恵の環づくり根っとうーく



集めた落ち葉で堆肥づくり。できた堆肥は家庭や学校、地域の団体などで利用している。



堆肥として有効活用するため、地域住民400人がケヤキの落ち葉拾いに参加。